

十勝川治水100年記念について

十勝川治水100年 ～ 洪水から地域を守り、地域の発展に貢献 ～



十勝川治水100周年を迎え、記念イベントを行いました。

十勝川治水100年 ～ 洪水から地域を守り、地域の発展に貢献 ～

明治31年9月の全道的な大洪水を契機として、大正7年(1918)に「十勝川治水計画」が策定されました。大正11年(1922)には、未曾有の大洪水に見舞われ、その後に計画を改訂することとなりました。

当事業計画は、主に流域の中で最も被害の著しく、かつ開拓の中心地域である「茂岩から西帯広」までの延長56キロメートルにも及ぶ区間に堤防、新水路掘削、護岸工事を実施するものでした。この壮大な計画を遂行するため、大正12年(1923)十勝川治水事務所が開設され、本格的な治水事業が始まりました。

令和5年(2023)は、大正12年に本格的な治水事業が始まって100周年を迎えました。

この間、度重なる自然の猛威を受けながらも水を治めてきた先人達の努力の積み重ねにより、流域住民の生命や財産が守られ、安全・安心で豊かな生活を享受しています。

十勝川流域は、いまや我が国における代表的な食糧供給基地として成長を、我が国にとって欠かすことのできないこの生活空間の維持・発展に向けた、さらなる飛躍が期待されています。



昭和2年頃 十勝川治水事務所前 斎藤静脩所長ほか
(出典：十勝川 写真で綴る変遷 (北海道開発局))

掘削機エクスキャベーターによる統内新水路の作業状況
(出典：十勝川治水史 (北海道開発局))



統内新水路 昭和12年通水
(出典：十勝川 写真で綴る変遷 (北海道開発局))

十勝川治水100年記念ロゴ



十勝川治水100年の「100」という数字の中に日高山脈十勝川～海へ流れ着くイメージと十勝の基幹産業である農業と漁業を表現したデザインです。

ゼロが重なっているのは様々なつながりをイメージしています。

帯広開発建設部HP
帯広川治水100年 QR CODE

URL
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tis/ui/inr9av0000007kyt.html>



十勝川治水100周年を迎え、記念イベントを行いました。

十勝川治水100年記念事業 主な取組

■ 開催日：令和5年10月21日（土） 9：30～17：00

記念碑除幕式（主催：十勝川治水百年記念協賛会）

先人達の偉業を讃え、治水の歴史を振り返り、今後の十勝川流域の更なる発展を願い記念碑を建立し、その除幕式を実施しました。式では、協賛会会長の米沢帯広市長からの挨拶、北海道知事代理副知事、北海道開発局長からの挨拶のほか、将来を担う小学生からの作文発表を行い、来賓の国会議員、道議会議員、北海道、北海道開発局、帯広小学校児童代表等による除幕式を行いました。



除幕式の様子

記念式典（主催：十勝川治水促進期成会、北海道十勝総合振興局、国土交通省北海道開発局帯広開発建設部）

十勝川治水100年を記念し式典を開催しました。式典では、帯広開発建設部帯広河川事務所久保所長から治水事業報告をいただいたほか、主催者から、こやり国土交通大臣政務官、鈴木知事（代理）、米沢期成会会長（帯広市長）からご挨拶、ご来賓の国会議員のみなさまから祝辞をいただきました。



式典の様子

記念シンポジウム（主催：十勝川治水促進期成会、北海道十勝総合振興局、国土交通省北海道開発局帯広開発建設部）

地域住民や関係自治体、関係機関のみなさまなど広く対象とし、俳優・タレントの森崎博之さんをお招きし基調講演をいただいた後、河川に精通する団体や児童福祉施設、教育機関の方をお招きして「十勝川を次世代に引き継ぐために」と題してパネルディスカッションを行いました。

十勝川治水100年記念事業 今後に向けて

- ・ 気候変動の影響による将来の降雨量の増大を考慮するとともに、流域治水の観点も踏まえ、令和4年9月に河川整備基本方針、令和5年3月に河川整備計画を変更しました。
- ・ 我が国を代表する食料生産基地「十勝」を洪水から守るため、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う流域治水を推進します。

十勝川治水100周年を迎え、記念イベントを行いました。

十勝川治水100年記念事業 主な取組

先人達の遺業を讃え、流域の発展の基礎となった十勝川の治水の歴史を振り返り、治水事業の担った役割等を再認識し、十勝川流域のさらなる発展と防災意識の向上にむけて、十勝川治水100年記念事業実行委員会が計画し決定した各種取組を実施しました。

構成員：

十勝川治水促進期成会、帯広建設業協会、帯広商工会議所、十勝観光連盟、十勝地区農業協同組合長会、大津漁業協同組合、十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会、帯広畜産大学、帯広信用金庫、十勝多自然ネット、十勝川中流部市民協働会議、帯広NP028サポートセンター、札内川懇談会、十勝総合振興局、帯広開発建設部
(順不同)

○パネル展の開催



過去の災害や河川事業など先人の偉業や苦勞の歴史を紹介するパネル展を開催

期 間：令和4年11月16日
～令和5年12月末予定
場 所：帯広第2地方合同庁舎

○トークリレーの実施



治水事業と係わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを、十勝毎日新聞社の協力を得ながら紹介

期 間：令和5年1月27日
～令和5年10月10日

取材人数：19名

掲載紙面を帯広開発建設部HPで紹介

取材状況

○写真展示リレーの実施



中札内村



上士幌町

○地域と連携した広報活動の実施

地域の各イベントと連携し、のぼり掲示、パネルや災害対策車両展示等の広報活動を実施



十勝サイクルウィーク



十勝川サロルンリムセ

過去の河川事業、災害、思い出をたどる写真をリレー形式で展示

実施日：令和5年6月5日～令和5年10月17日

場 所：管内公共施設（19市町村及び十勝総合振興局）